

少子・高齢化社会とソーシャル キャピタル



京都大学経営管理大学院

小林 潔 司

少子高齢化社会とは？

高齢化社会 VS 長寿社会

少子社会



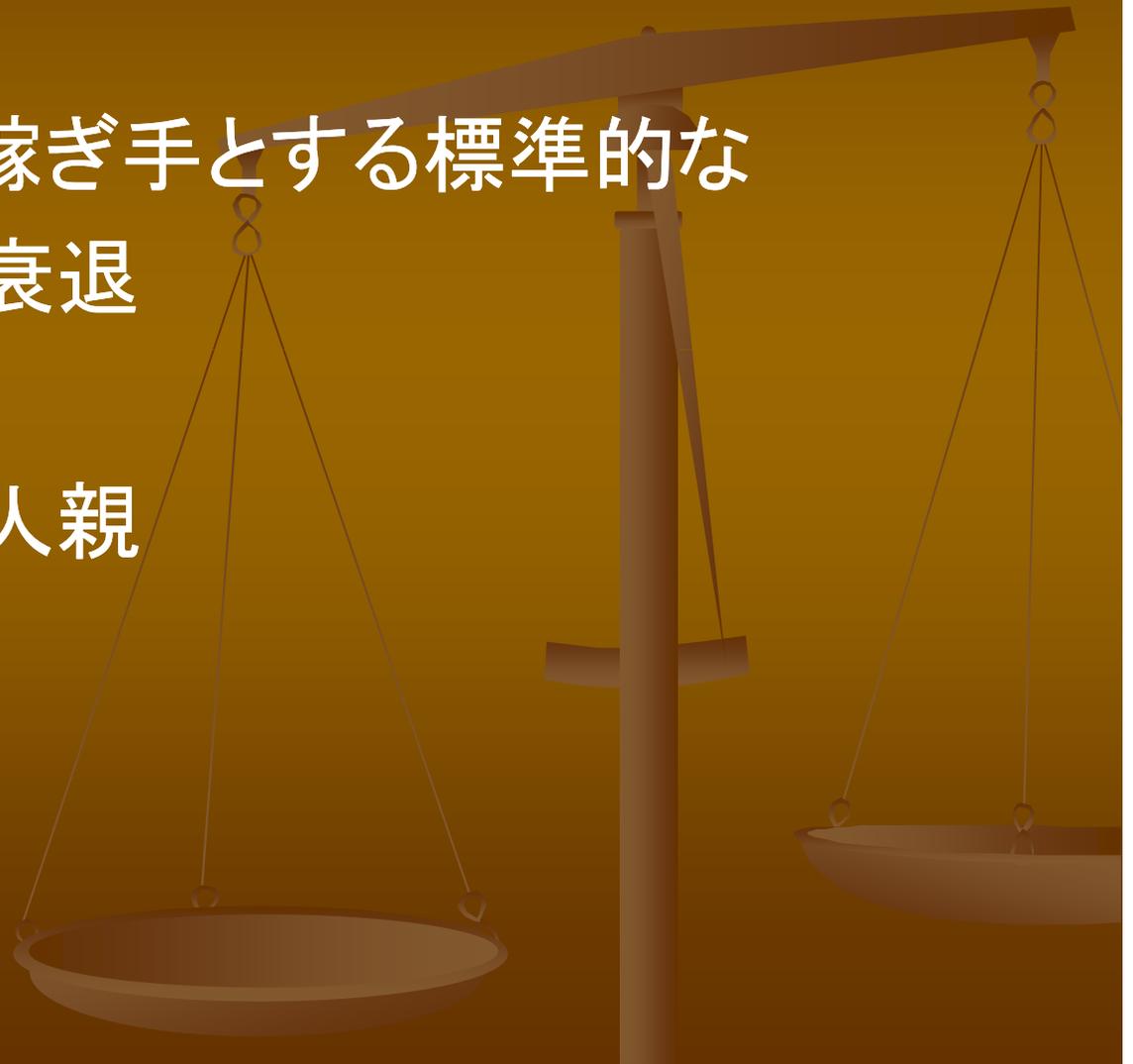
長寿命化の原動力

- 医学の発展は原動力か？
- 生活インフラの整備



家族の革命的変化

- 男性を一家の稼ぎ手とする標準的な家族モデルの衰退
- 離婚・別居・一人親

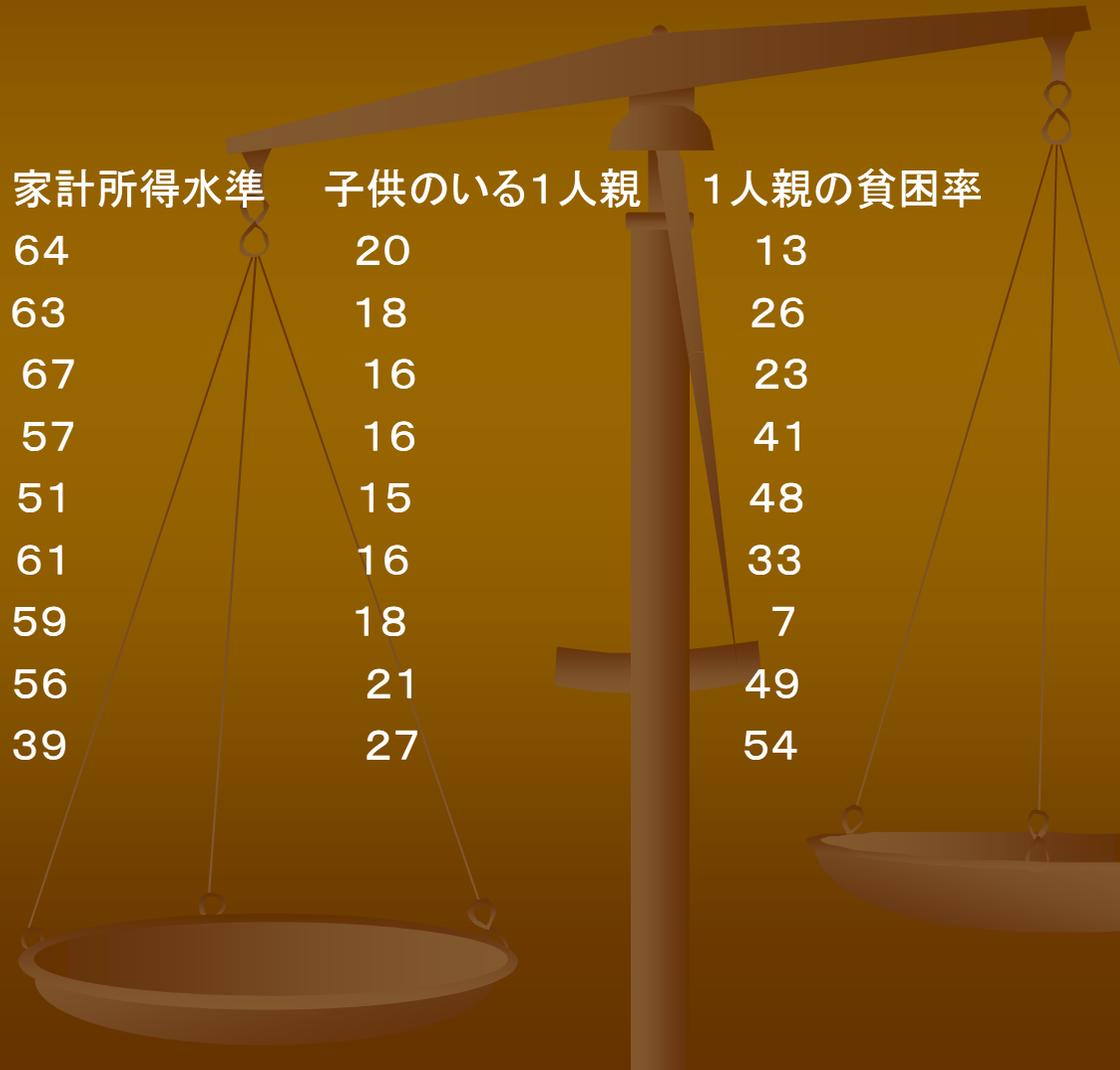


家族が行う福祉サービス（1990年代）



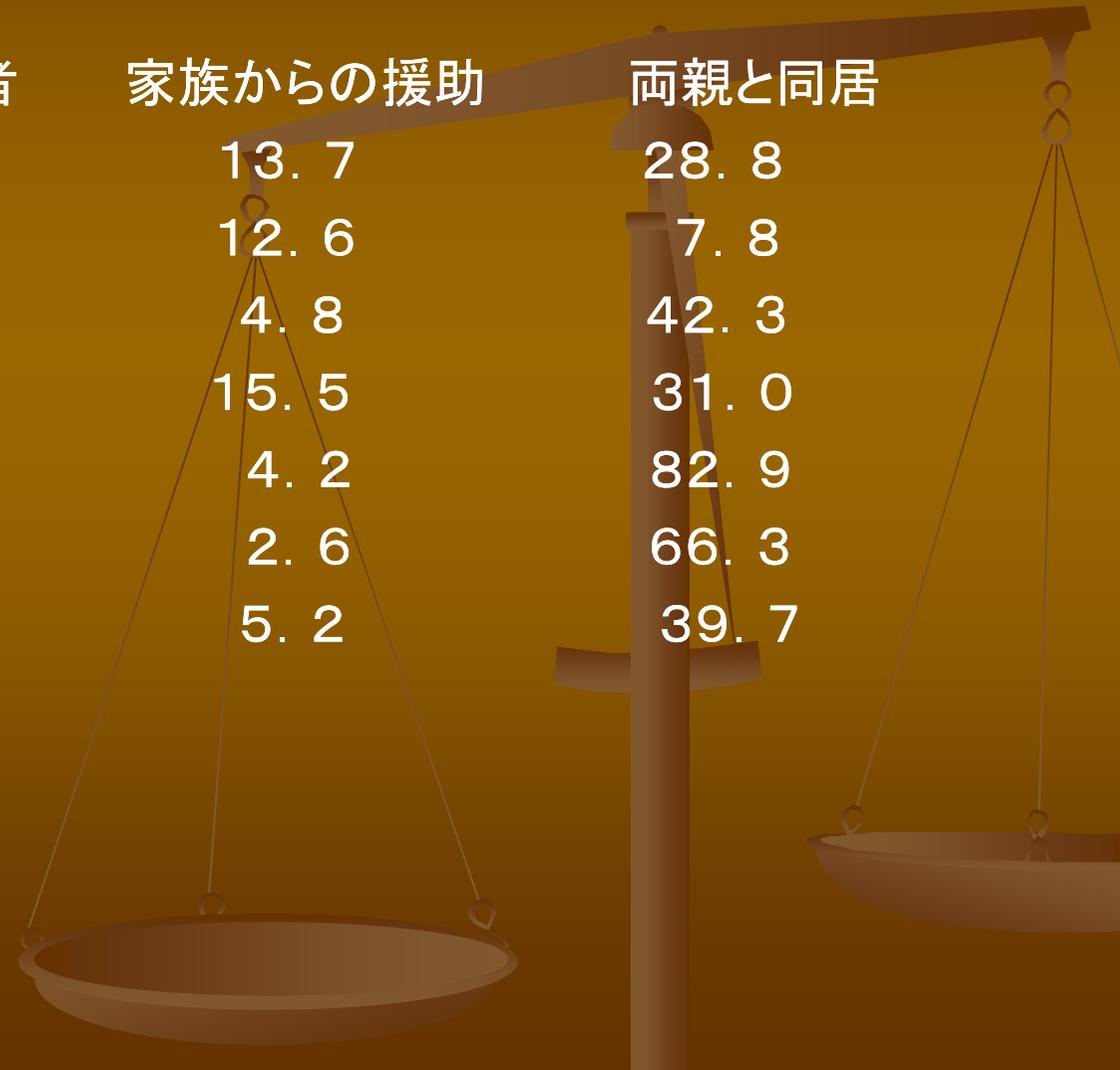
	高齢者と同居 (%)	両親と暮らすニート (%)	女性の家庭内労働 (時間/週)
イギリス	16	35	30.0
アメリカ	15	28	31.9
デンマーク	4	8	24.6
スウェーデン	5	—	34.2
フランス	20	42	36.0
ドイツ	14	11	35.0
オランダ	8	28	38.7
イタリア	39	81	45.4
スペイン	37	63	45.8
日本	65	—	33.1

非標準的な家族と経済的状況 (1995 OECD)



	所得ゼロの家計	家計所得水準	子供のいる1人親	1人親の貧困率
■ ベルギー	13	64	20	13
デンマーク	8	63	18	26
フランス	12	67	16	23
ドイツ	12	57	16	41
イタリア	10	51	15	48
オランダ	14	61	16	33
スウェーデン	8	59	18	7
イギリス	13	56	21	49
アメリカ	6	39	27	54

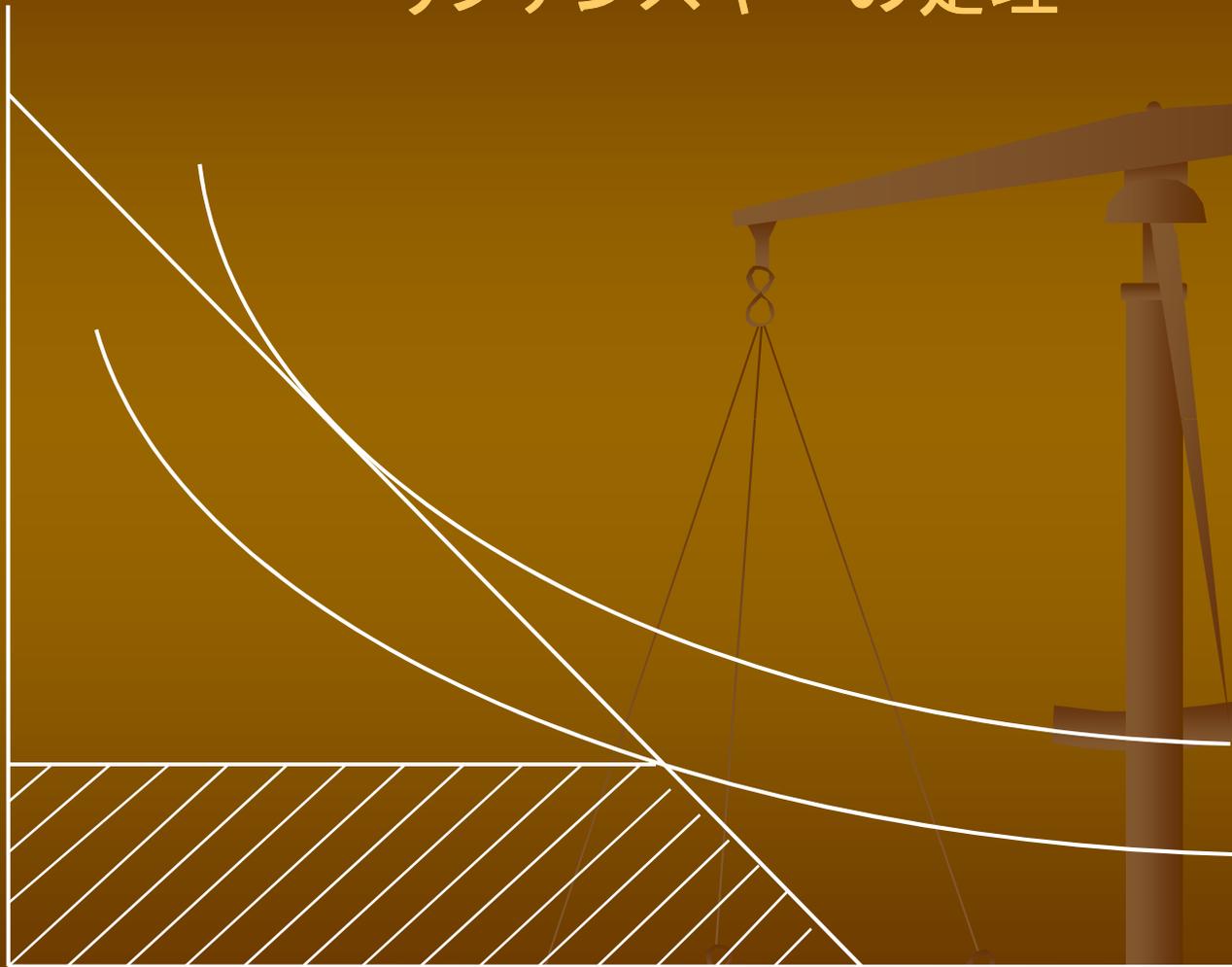
若者(20-30歳)の貧困者



	所得ゼロの若者	家族からの援助	両親と同居
ベルギー	3.3	13.7	28.8
デンマーク	0.0	12.6	7.8
フランス	20.8	4.8	42.3
ドイツ	8.5	15.5	31.0
イタリア	81.3	4.2	82.9
スペイン	42.6	2.6	66.3
イギリス	2.2	5.2	39.7

リップチンスキーの定理

屋外



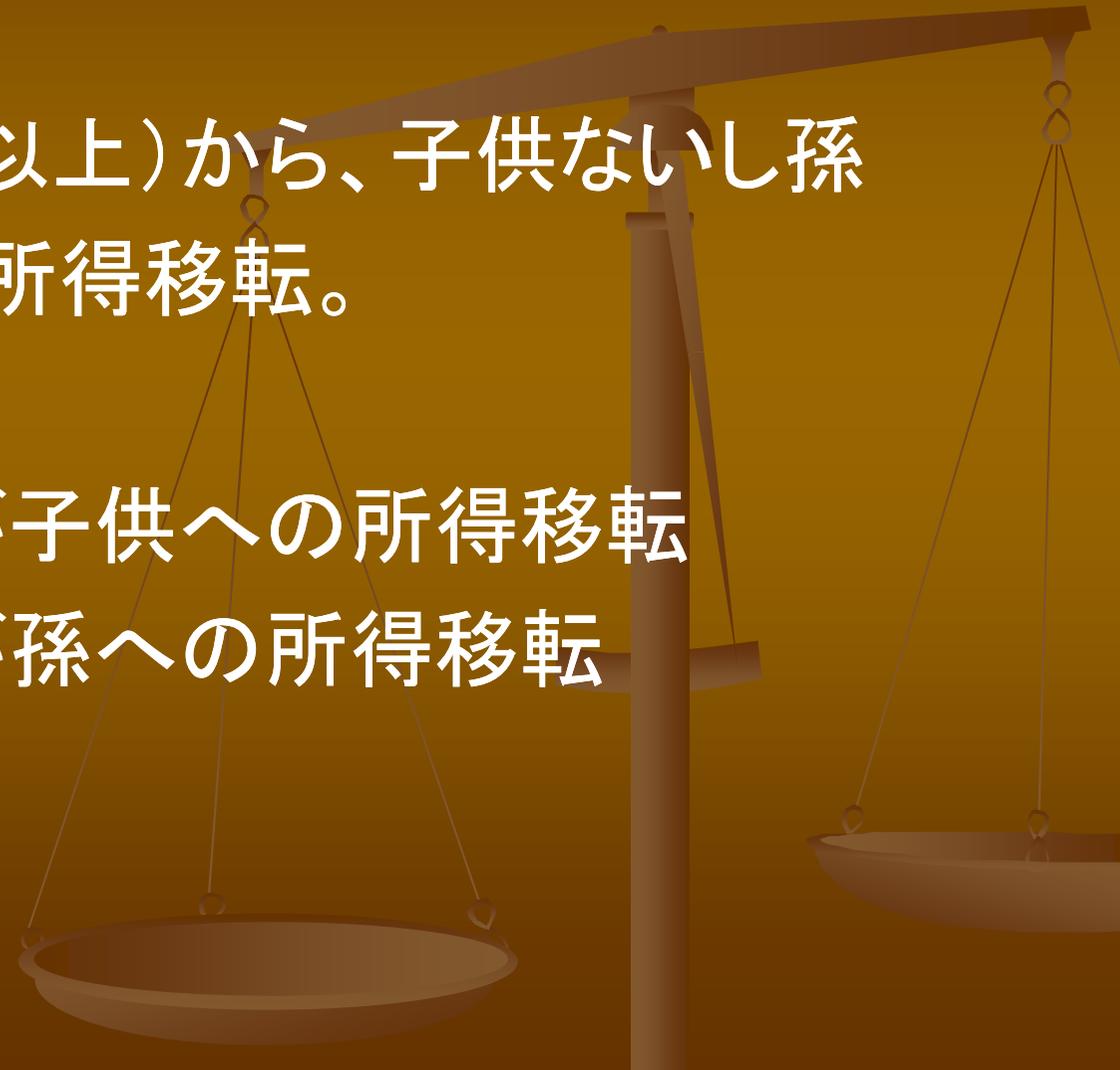
室内



福祉政策の偏重(1992:OECD)



	サービス給付/現金給付	若年者/高齢者
オーストリア	0.03	0.31
ベルギー	0.08	0.61
フランス	0.13	0.48
ドイツ	0.12	0.43
イタリア	0.07	0.79
オランダ	0.12	0.79
スペイン	0.05	0.67
スウェーデン	0.45	0.92
イギリス	0.13	0.50
アメリカ	0.06	0.30

- 
- 高齢者(70歳以上)から、子供ないし孫への圧倒的な所得移転。
 - 所得の24%が子供への所得移転
 - 所得の15%が孫への所得移転

ボーモル病

- サービス価格が高くなり、市場が成立しない
2人の子供の育児費用は女性の稼得に近い
いか、家計所得の40%に到達(OECD,1998)
- 女性就業率 = $67.40 - 0.653 \text{ 育児費用} + 0.242 \text{ パートタイム} (\%)$

出生率パラドクス

出生率と女性の雇用が正の相関

$$B = 4.10 - 0.03W \quad (1960\text{年})$$

(8.22) (-2.48)

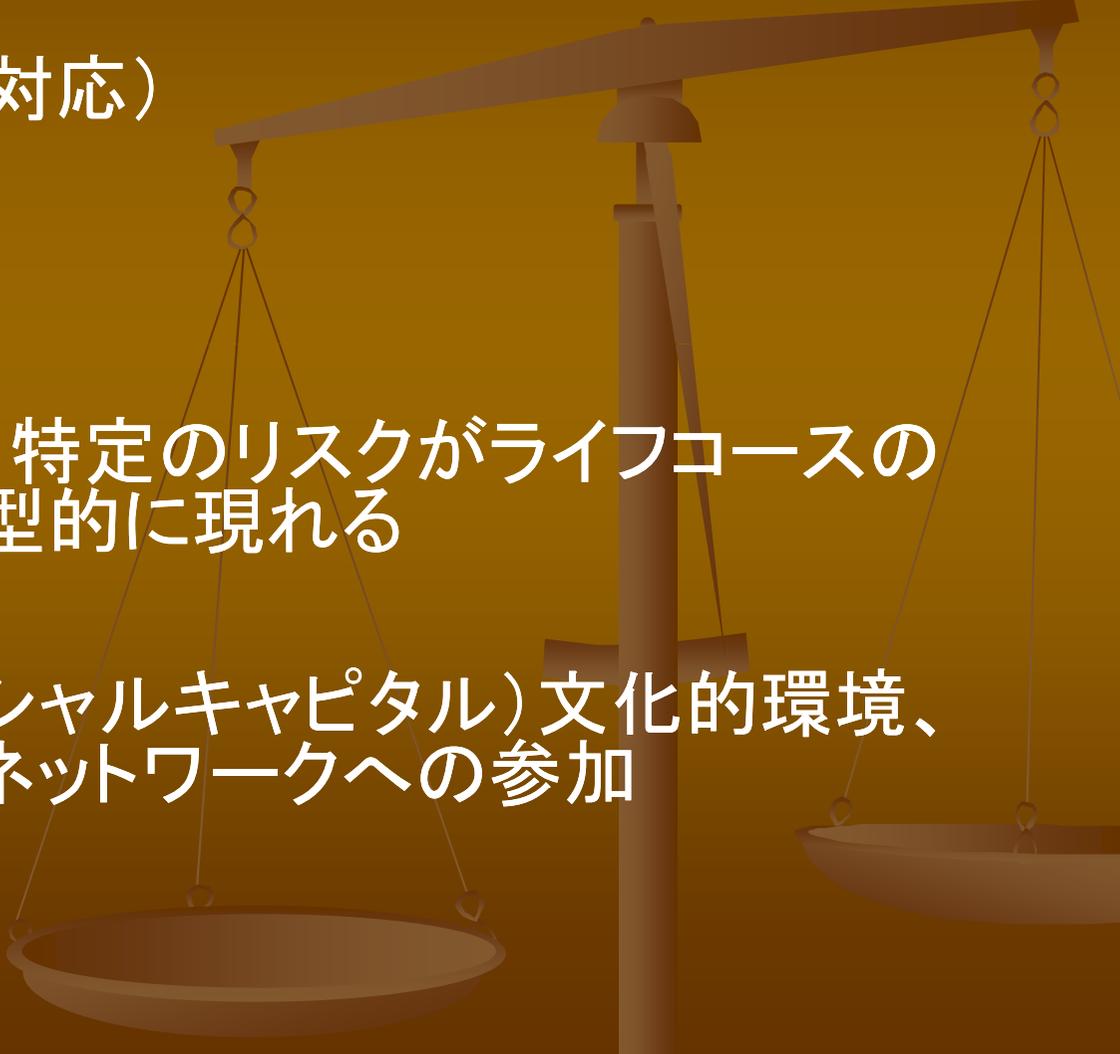
$$B = 1.09 + 0.01W \quad (1992\text{年})$$

(3.55) (2.13)

B: 出生率 W: 女性の就業率

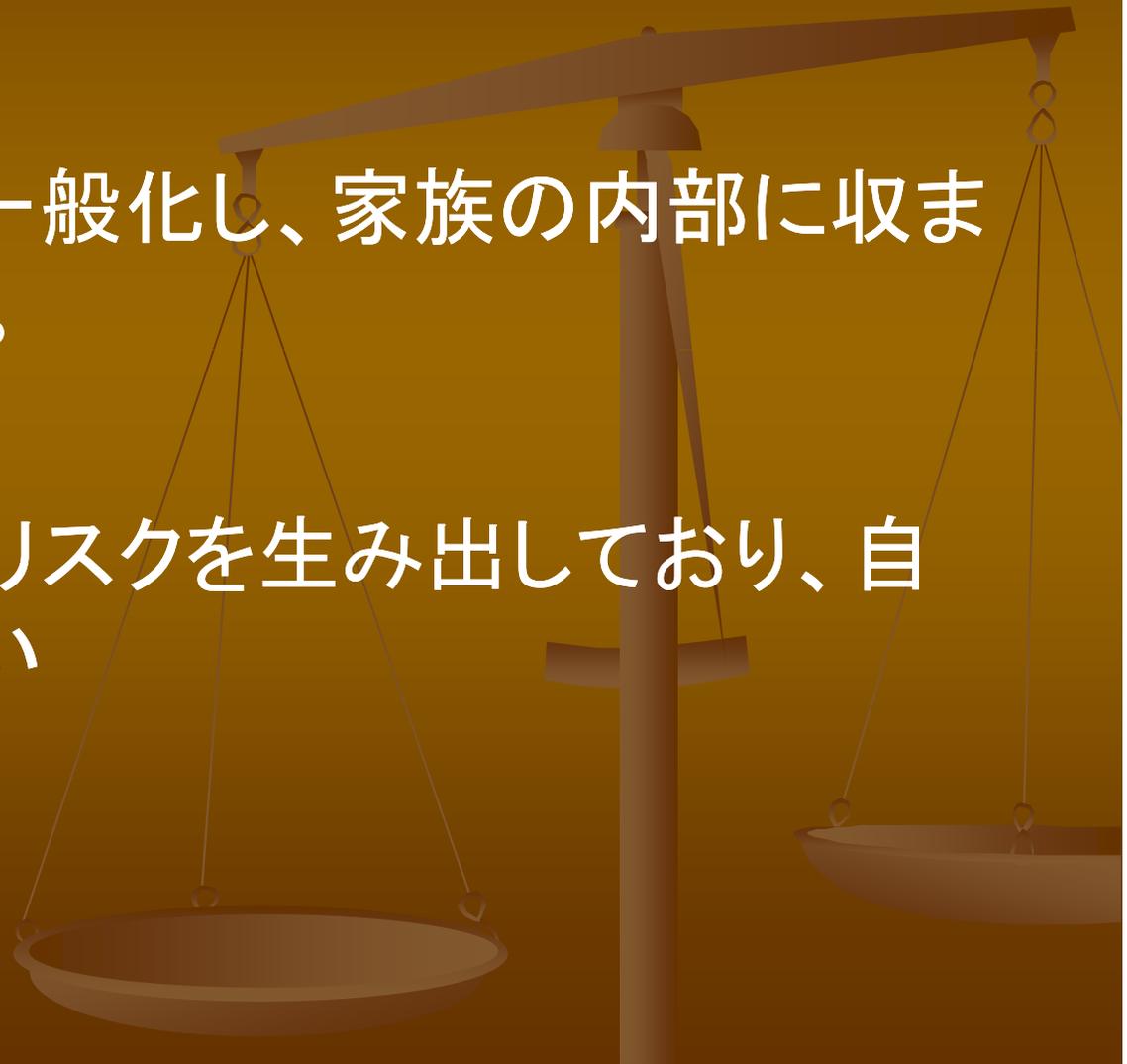
家族が育児費用の全額を負担できない。
それを内部化する意思もない。

家庭をとりまくリスク

- 普遍リスク(保険で対応)
 - 集団的リスク
 - ライフコースリスク 特定のリスクがライフコースのある特定段階に典型的に現れる
 - 世代間リスク(ソーシャルキャピタル) 文化的環境、教育環境、社会的ネットワークへの参加
- 

市場の失敗と家族の失敗

- 社会的リスクが一般化し、家族の内部に収まり切らなくなった。
- 市場そのものがリスクを生み出しており、自力で解決できない





リスクマネジメント

リスクガバナンス

幸福とは

持つ、愛す、行動する Allardt 1975

幸福 = 金銭 + 健康

幸福 = 資源コントロール + 社会的統合



希望の原理と 都市政策

